

東ト協青年部情報紙



2018年(平成30年)9月5日 夏号 No. 77

(一社)東京都トラック協会青年部発行

編集者: 広報委員長 佐藤 正樹

(江戸川支部・(株)ワークオンクリエイト)

東京都新宿区四谷三丁目1-8

TEL: 03-3359-4137

FAX: 03-3359-6020

青年部HP <http://www.ttas.jp/> ⇒⇒



※青年部HPに活動報告を掲載!

『全員が主役の組織作りの為に』

本部長 岩田 享也 (中央支部 八大(株))



今年度本部長を仰せつかっております中央支部・八大株式会社岩田で御座います。始めての方もいらっしゃるかと思いますので、簡単な自己紹介をさせていただきます。

中央支部に所属している創業76年目、3代目の代表を務めております。数年前には会社も大きな経営危機を迎え、同時期に事業継承も迎えました。同業の仲間や金融機関等々・皆様のお力をお借りし、お得意

先様の選定・入替を重ねようやく落ち着いたのがここ数年です。安住せずにファーストペンギンとして未知の所へ飛び込むこと、そして人の意見を真摯に受け入れることの大切さを痛感したのもその時期でした。

これまで私は、中央支部の青年部長を拝命しながら、積極的に活動に携わっていなかったことは組織の代表として猛省するべきこと。今になって大変に申し訳なかったな、と反省しております。

そんな私の転機は3年前の海外研修です。従業員との意思疎通に大苦戦していた時期、色々な本を読み漁っていました。その時に出会ったのが従業員満足度を売りにして急成長、そしてアマゾンがそのメソッドが欲しく800億で買収していた会社のお話『ザッポス伝説』。笠原前々本部長の率いるアメリカ・ネバダ州への研修。まさに私が参考にしようと思っていた会社でした。当本部長の先見の明、研修の組み立ての実行力に大変驚きを感じたものです。当社の基本理念、ビジョン・ミッション・バリューはまさにザッポスを参考にしております。

ただ、何よりも嬉しかったことは仲間が出来たことでした。ほぼ初対面の私に皆さんは大変暖かく迎えて頂きました。研修の気づきも大きかったですが、その時に培った皆さんとの絆が私の一生の宝物となっております。




青年部 Facebook ページ

活動を随時掲載中!!!

QRコードで読み取り⇒⇒



皆様の  いいね! をお待ちしております m(_)_m

6月の総会からあっという間に2か月が経ちました。総務委員会が中心になり、交通安全教室や各支部の研修会、他組織との交流など多くのイベントが続き、やみくもに前進している様な気持ちになることがあります。そんな時に多くの仲間、先輩方が手を差し伸べ助けてくれます。本当にありがたいと感じていると共に、色々な活動を通じ各支部の青年部が大変素晴らしい活動をしていることも気づきました。

ぜひその活動を我々トラック協会はもちろんの事、業界以外の皆さんにも伝えたい!との思いで広報委員会を中心にFaceBook(FB)ページを作りました『一般社団法人東京都トラック協会青年部』を検索、または下のQRコードを読み取って頂き、ぜひ『いいね』を押し、シェア頂けますと幸いです。

これから我々の業界は更に注目を浴びていきます。この業界を活性化し、主体性を取っていくには受け身でなく、しっかりとアピールしていくことも大切だと思います。新たなニュースを活発に上げ、皆さんに喜んでいただけるFBページになれば良いな!とっております。

これから会員相互の親睦・活性化を目的とした組織委員会のイベント・親睦のゴルフコンペ、来春の家族会の準備も開始致しました。また、研修委員会は皆さんの経営の為になる、そしてこれからをつくっていく経営幹部等向けにも企画を着々と進めております。

各委員の皆さんの頑張りに期待頂くと共に、ぜひ皆様のお力添えをお願い致します。

我々青年部は経営・プレイヤーの端境期です、超えたハードルの分だけ強くなる、また失敗も次への糧に出来ます。他支部・全国も含め多くの青年部の仲間を作り、見識を広め、色々なことにチャレンジしていきましょう!

皆様のご意見を頂きながら『全員が主役の組織作り』を行って参りたいと思います。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します!!

トラックフェスタ TOKYO2018

平成30年9月23日(日)9時~16時

(22日(土)は一部プレオープン)

於: 代々木公園(野外ステージ・イベント広場)

☆☆青年部は死角体験・トラック乗車体験ブースを担当☆☆
あわせて、平成30年7月豪雨被災者支援のための義援金も募りますので皆様のご協力、宜しくお願い致します。

支 部 だ よ り

◇中央支部

去る7月19日(木)、中央区立京橋築地小学校において開催されました『ランニングパトロール出走式』にお招きいただきましたので、本式典までの活動経緯と当日の様子をご報告させていただきます。

まずは「ランニングパトロール」という試みですが、中央区 PTA 連合会主導のもと、区内在校生の保護者の皆様がオリジナル制作のビブスを着用して区内をランニングすることによって、“地域の目”を用いた安心・安全な街づくりに参画していこうという活動です。

子ども達の交通事故被害防止のための役に立ちたいという我々トラック協会の想いと合致する点から、このたび本活動の立ち上げにあたり、交通遺児財団様からの助成金を活用し、運営にご協力いただきました。

当日は我々の他にも、警察・消防・区役所など

のさまざまな団体の代表者と、区内各地域より保護者の方々が集い、体育館で行われた式典の前半には、代表でご挨拶された方々の、地域貢献への情熱が溢れておりました。

式典後半の「出走式」では、参加者は皆、校庭へと移動します。保護者の方々はビブスを着用し、地域ごとに分かれ順々にスタートラインに立ち、スターターピストルの号砲を合図に一斉に動き出し、校庭内を周回して校外へと駆けだしていきました。

式典終了後、学校を後にした我々は、校外を走る保護者の皆様と、着用するビブスに目が行きました。白地を基本色とした中に、活動ロゴとキャラクター、加えて“いっしょに安全！”のマークがプリントされたビブスは、遠目からでも目立つデザインで、この活動のツールにとってもふさわしいものだと感じました。

縁あって本活動に参加させていただきましたが、我々の日々の活動が、地域貢献や安全という面においても少しでも繋がるよう、積み重ねていきたいと思う一日でした。

渥美 明哲 渥美運輸(株)



◇世田谷支部

猛暑日が連日続いておりますが、皆様ご体調の方は如何でしょうか？

この度、平成30年6月23日の総会をもちまして正式に世田谷支部青年部の青年部長をおおせつかりました、帯瀬運送(株)・帯瀬善之と申します。何分未熟者ですが、皆様のお力添えの程、何卒宜しくお願い申し上げます。

早速ですが青年部長になり、早々のお仕事が8月4、5日ございました。

【第41回 世田谷区民祭り】が開催され、今回は初めての試みでトラック用【トラックステージ】という舞台をご用意させていただきました。また例年のスーパーボールすくいの

方も同時に出展させていただきました。

ステージでは歌、お笑い、寄席など大いに活用していただき、また当支部では【トラックに乗ってみよう】といった形でちょっとした死角体験も行いました。

今回は地元ラジオ局の【FM 世田谷】さんのご協力もありまして、このような事が行われたこと、感謝しております。また今後も防災防犯対策、交通安全の呼びかけラジオを通して行えればと思い、強く願っております。また9月にも東京都トラック協会として大きなイベントがございます。当支部でもご協力させて頂き、より良いものにしていきたくと思っております。

帯瀬 善之 帯瀬運送(株)

◇深川支部

皆さん、こんにちは。深川支部青年部長を仰せつかっております、サイショウエクスプレスの齋藤と申します。

7月19日に深川支部、江戸川支部様、城東支部様による三支部合同研修会を東陽町にありますホテルイースト 21 で開催致しました。

今回は三支部合同でしたが三支部以外の台東支部様、中央支部様、墨田支部様にもご協力頂き無事に終える事が出来き感謝申し上げます。ありがとうございました。

業界の課題である人手不足、高齢化、それに伴い健康リスクというものが年々高まってきています。経営者、管理者はもちろんドライバーさんの健康管理が重要ではないかと考え、今回はRIZAPさんにご協力頂き「健康セミナー」というテーマに至りました。ドライバーさんの健康管理がとても大切ですが、まずは経営者や管理者が健康意識を高めて病気にならないための身体づくりをここで学びました。

座学ではクイズ形式で糖質が多い食べ物はどっち？効率よく痩せるには？など楽しく学びました。メインは何といっても実技です。30分の実技でスクワットを中心に汗ばむくらい身体を動かしました。暑い中、来て頂いた皆様には申し訳ないと思っておりましたが参加者の方々は健康意識が高い方ばかりだったのでとても楽しく学ぶことが出来たのではないかなと思います。トレーナーさんからは参加者にもれなく、筋肉痛というプレゼントを頂き私も二日後には太ももがパンパンになっていました。

この健康セミナーを通じて一件でも健康起因事故防止に繋がっていただき、ひいては生産性の向上、保険料の削減、業界の活性化になればと思います。

今後も青年部活動において健康で楽しみながらいろいろとアイデアを考え活動していきたいと思っております。

齋藤 敦士 サイショウ.エクスプレス(株)

行 事 予 定 ①

★埼玉・山梨・東京のトラック協会青年組織合同交流事業
in 山梨県笛吹市

平成30年9月30日(日)

チャリティゴルフ : 境川カントリー倶楽部

意見交換会・交流会 : 華やぎの章 慶山

◇江戸川支部

皆様こんにちは。連日の猛暑の中、皆様の体調管理は万全でしょうか？今年度より江戸川支部 情報通信委員を仰せつかりました福田と申します。

江戸川支部では、5月26日・27日に島根県の隠岐へ親睦旅行に行つて参りました。

隠岐島とは、2013年9月に世界ジオパークネットワークに認定された場所です。「島後」と「島前」をタイトなスケジュールの中巡りました。

都会の喧騒から離れ、360度大自然に囲まれた場所で断崖クルーズ・釣り・バーベキューなどを行いました。

特に、森本支部長（当時）の提案により始まった菱浦港での釣り大会では、なんと！黒鯛なども釣れて大いに盛り上がりました。皆心身共に癒され、そして旅の最大の目的である親睦も深める事が出来ました。

7月7日、西葛西駅前南口にて街頭での献血協力の呼びかけと献血を行つて参りました。厳しい暑さの中、皆大きな声で呼びかけをし、沢山の方々に献血協力をして頂き、目標人数を達成する事が出来ました。

今後も江戸川支部青年部活動を通じ社会貢献を活発に行う所存でございます。 福田 順一 (株)盛運

行 事 予 定 ②

- ★関東トラック協会青年部会「研修見学会」in 山梨県
平成30年11月9日（金）
於：シチズン電子株式会社&富士山世界遺産センター
※見学後は、「ホテル鐘山苑」にて見学発表・交流会を実施。
- ★東ト協三組織「合同セミナー・新年会」
平成31年2月6日（水）
於：京王プラザホテル(新宿)
※内容等は検討中。（今回は女性部が担当）
- ★全ト協青年部会「全国大会」
平成31年2月22日（金）
於：京王プラザホテル(新宿)
※内容等は検討中。

◇全ト協青年部会・関東ブロック大会に参加して

去る6月24日(日)、埼玉県川越市「川越プリンスホテル」において、「第30回(公社)全日本トラック協会青年部会関東ブロック大会」が盛大に開催され、東京からは30名、全体としては225名が参加致しました。

この大会は、関東ブロック1都7県のトラック協会青年組織が持ち回りで担当し、各都県において毎年開催されております。

本年度は、埼玉県が担当県となり、田口部会長を中心に綿密に準備を進めて頂いていたことで、大変有意義なブロック大会となりました。

第1部の研修会では「AI・IoT が物流をどう変えていくか」をテーマにディスカッション方式にて進めていきました。まだまだアナロ

グが多く残る我々の業界に、どう寄与していくのかを参加者全員で考え、学ぶ良い機会であったと感じております。

第2部の交流会では、多くのご来賓の皆様、全国各ブロック長の皆様にもご参加頂き、会員相互の交流を深めることができた良い時間でした。東京から参加された会員皆さんも多くの新たな出会い、多くのご縁を頂けたと感じています。

交流会終了後も、場所を変え、夜遅くまで親睦を深めさせて頂きました。夜遅くまで、終始運営に徹せられていた埼玉県の皆様に感激したと同時に、とても良い学びを頂きました。

翌日も埼玉県の皆様の運営により、チャリティゴルフ大会が武蔵 OGM ゴルフクラブにて行われました。

東京からも15名が参加し、会員相互の親睦を深める非常に良い機会となりました。

改めまして、本大会の運営にご尽力頂いた埼玉県の田口部会長をはじめとする関係者の皆様、この場をお借りしまして、心より御礼を申し上げます。

江戸川支部 佐藤 正樹 (株)ワークオンクリエイト



【関東ブロック大会・大会旗伝達】

今年から大会旗を作成。次のブロック大会開催地へと繋いでいく。写真は大会旗を持つ、関東協青年部会・結城会長(左)から北海道ブロック代表・吉谷会長(右)

◇東京・大阪の青年組織による研修交流会に参加して

7月28日に大阪で開催されました「東京・大阪のトラック協会青年組織による研修交流会」について、報告致します。

この交流会も13年目となり、ご参会頂いた方々、またこれまで繋げてきて頂いた先達の方々含め、誠に感謝致します。

この度の次第は、1)開会 2)あいさつ 3)意見交換研修会の内容で、(1)自己 PR(2)ブレインストーミング=テーマ:「物流の現場で求められていること(モノ)、困っていること(モノ)の」以上の内容で進められました。

司会進行は、大阪府トラック協会青年部会 副部会長 (有)辻亀運送 辻 克憲様が務められ、同部会長 丸正運送(株) 橋本充雄様からご挨拶を頂きました。

前年度と同様に幾つかのグループに別れ、各テーブルでの自己 PR を交わしました。この PR の良いところは、自社の強みと弱みを語ることで改めて、我が身を知れる事。また、会の計らいもあり、似たような輸送品目を扱っている仲間が同テーブルに集められていることが、同じような悩みを共感できること、そして、思いもよらない発見をもたらしてくれることでした。

その後、今回のディスカッションの趣旨を東ト協青年部の岩田本部長が挨拶をかねて説明しました。



その内容は、会の趣旨として、

「こんな会を皆さんと作っていったら良いな！」を主題とし

①昨年の振り返り: 昨年度の研修交流会を振り返り、今年の交流会はどうしたら良いか？昨年度の素晴らしいプランを昇華させたい！！

②こんな事がきっかけ: 物流業界の各種団体の懇談の場で、物流の現場の状況について情報をもらえないか？

③頑張っている人ほど当たる壁: 人財・法律・距離・重量・時間など様々な問題に行き当たります。それは、個々の努力ではどうにもならない壁で有ったりもします。

では、我々業界の貨物運送事業者数についてみると、

全国約 56,000 に対し、大阪 4,400 (7.8%) と東京 5,300 (9.4%) だと合計 17% となり、またこれを少し広げて近畿 9,200 (16%) と関東 18,000 (31%) だと合計 47% になります。この数字は、凄いことを伝えてくれています。我々がこうして集まって集約したことを発信していくことが重要であるということです。

④将来へ向けてのトレーニング:

対外的に P(plan) D(do) C(check) A(act) を回していきましょう。その為のスケジュールとして、この会を出発点として、この場での意見を集約し、そして、今回 10 月に全ト協に意見提案を行なう。その回答を踏まえ次年度の研修交流会を行い、新しい意見を集約し全ト協に提出する。

という様にスライドを通して説明して頂きました。

何よりもその最後に伝えて頂いたこと

「我々青年組織の良いところは、『トライ & エラー』が出来ること！！」これこそが「青年組織」の強みだと思いました。



この度のブレインストーミングでは、「物流の現場で求められていること(モノ)、困っていること(モノ)」をテーマとして、数々の意見が出されました。主に「人材雇用・人材教育」「労働法規」「助成金」などがありました。

それぞれの問題においても、各々の会社(現場)で出来ること、業界として出来ること、行政として出来ることなどいろいろなくりでも語られました。



【研修会の様子】

最後に、今交流会に参加して、一歩踏み出した未来を皆で語り合えたこと。そして、これまでの繋がりをベースによりよいものを作り出していく、さらには、「ヒューマンネットワーク」をより一層広げていくこと望める仲間と交流会が出来たことが、何よりも収穫となりました。誠に有り難うございました。

できることならば、次回はまた新たな仲間との出会いと繋がりに、そして、皆さまのさらなる隆盛に祈念して報告を終了させていただきます。
目黒支部 高橋 益衛 (株)セイショウ

※次号は12月発行予定です！